

1期生〜14期生までの卒業生の方で、終身会費を納入する場合は、郵便局に備え付けの振込用紙にて郵便振替でお願い致します。

口座番号は次の通りです。  
口座番号  
0275016116739

### 会計報告

平成10年4月〜平成11年3月末までの会計収支決算は下記の通りとなりましたのでご報告いたします。

収 入	金 額	支 出	金 額
繰越金	14,904,512	同窓会記念品	51,975
同窓会費(保29期教10期)	860,000	会報、名簿等印刷代	629,700
同窓会費(過年度分)	32,000	会報等発送料	202,240
利 息	20,026	名簿作成・会報発送等アルバイト料	60,000
		コピー代	10,249
		御礼品代	30,000
		その他(消耗品、切手、手数料等)	23,309
(イ) 計	15,816,538	(ロ) 計	1,007,473
収支差引次期繰越金 ￥14,809,065 (イーロ)			

(円)



口座名  
文化女子大学  
室蘭短期大学同窓会  
尚、振込みの際には振込用紙の通信欄に宛名シール下に記載の「通し番号」を必ず記入していただきますようお願い致します。(この番号は卒業証書の番号と異なることがあります)その他ご意見、ご質問等ございましたら、併せてご記入下さい。

## 同窓会を終えて

同窓会会長 下澤和枝



20世紀最後の記念すべき年が明けました。昨年11月には、永年の願いだった同窓会を開催する事ができ、ほっとしています。いたらなかった所もあつたとは思いますが、参加者皆様のご理解、ご協力で、何とか開催にこぎつけ、盛況のうちに終える事ができたことを本当にうれしく思っています。



第16号  
発行 平成12年3月31日  
発行所 文化女子大学室蘭短期大学同窓会  
室蘭市高砂町3丁目11-50  
印刷所 富士印刷株式会社

## フォト'99 第30回 文大祭より



今回はまず第一回目(実質は2回目)として、この経験を踏まえて、次回開催への足掛かりとしたものです。一つお願いですが、同期のお友達同士、声をかけあつて一緒に出席すればもっともっと楽しい同窓会になるのではないのでしょうか。

昨年6月に開講した一般市民対象の公開講座は「人間と社会と文化」という共通テーマのもとに、それぞれ異なった専門分野で優れた業績のある文化女子大学の6人の先生方に講義をお願いしました。恐らく他の教育機関やカルチャー教室では受講出来ない、大変ユニークで内容豊かな講座となり、予想を上回る数の市民の方々が本学に足を運んでおられます。



主事 根本 寿夫

## 平成11年度を振り返って

多くの市民の方々の共感を呼ぶことが出来たという成果の中に私達が探求すべき貴重な因子が潜んでいるように思います。又同時に行われた同窓会には、学長はじめ新旧職員が出席させて頂いていただきました。多くの一期生にもお会い出来、懐旧の情誠に抑え難いものがありました。又母校に対する皆様の熱い思いをひしひしと感じた晩秋の一夜でした。記念として掛時計をご贈りいただいたことに改めて御礼申し上げます。3月ともなるとキャンパスの立木も枝先を空に向けて生気を漲らせました。鳥たちの飛翔にも生々とした羽音が聞こえます。この生のエネルギーを自らのものに取り入れて山積みする難問に対処していきたいと考えております。

# 開学30周年記念同窓会開催



文化女子大学室蘭短期大学同窓会



左 大沼学長

昨年11月23日、蓬峯殿において、同窓会総会、サンルートにての懇親会が開かれました。当日は、室蘭短大開学30周年記念行事が行なわれ、東京の文化女子大学の留学生によるファッションショーも盛大に行なわれました。総会に出席の我々同窓生も皆、ファッションショーを拝見し、久しぶりに文化の香りを満喫しました。尚、開学30周年にあたり同窓会から学校への記念品として、掛時計10台を贈呈致しました。この場をかりてお知らせ致します。ご了承下さい。

総会では、まず学長先生のあいさつがあり、開学に至る苦労話や、

30年を経てこれからの大学のあり方など同窓会の力が必要とのお言葉でした。

次に議題として、

- ・常任委員選出(別途記載)
- ・名簿の作成について

今年度中に名簿の整理を完了し、作成し、配付の予定です。住所の変更及び知っている友達の住所を知らせて下さい。尚、卒業生名簿は有料となる見通しで、金額は今の所未定です。

これからの同窓会活動について皆で協力して盛り上げていこう。一人ひとりが次回の同窓会には、少なくとも一人の友人をつれて出席し、今回の倍の参加者をいと決意しました。又、そう遠くない時期に次回の同窓会を開きたいとの声もありました。懇親会では、

今回60名以上の参加者及び15名以上の先生方のご出席がありました。懐かしい友人や先生方との話に、皆、話はずんでいました。東京から学長先生をはじめ、潤間先生、菊地先生、川崎先生などもご出席いただきました。現在学校にいらっしゃる先生方も、ほとんどご出席下さいました。卒業以来、年振りに会う恩師、友人との再会に、皆、昔話に花をさかせ、2次会、3次会と、楽しみました。

ここに、今回参加できなかった方々からメッセージを2、3紹介します。

★30周年おめでとうございませう。同窓会のお手紙が届くたび懐かしい日々を思い出します。短大の時の友達は今でも手紙や電話でやりとりをし、ほとんど子育てに追われる毎日を通り越してあります。キラキラした時はあつという間。あの頃は子育てなんて想像もしなかったのです(笑い)皆様、同窓会懐かしい話に花咲かせて楽しんで下さい。

生16期 柏谷 千奈(旧川村) 茨城県在住

★30周年おめでとうございませう。伺いたいのですが、仕事の都合で、どうしても出席できず、とても残念です。皆さんお会いしてお話できたら楽しいですね。

服8期 北浜 栄利子 札幌市在住

★子供がまだ小さいため、遠出が出来ず残念ですが、次回はぜひと思っております。

保20期 石川真由美(旧石川) 横浜市在住

今までの常任委員に加えて新しく常任委員(連絡係)をお願い致しました。何かあれば、次の方々に連絡して下さい。

次回の同窓会でお会いしましょう!

## 新しい常任委員です! ( )内は旧姓です。

服1期	重富るり子(村井)	(0157)25-5324	教27期	福士まゆみ	(0143)55-5436
1期	清水 令子(清水)	(0143)85-2566	27期	岡崎 千春	(0143)59-6840
3期	鈴木 成子(村井)	(011)384-4494	保1期	下澤 和江(小室)	(0143)24-3129
5期	長谷川信子(佐藤)	(0143)43-7902	1期	大阪喜久乃(秋田)	(03)3974-8957
8期	木村 利香(金子)	(0143)85-6032	1期	福士 牧子(藤田)	(0143)86-8506
9期	佐藤恵利子(小笠原)	(0143)88-2313	9期	小塩良志子(青木)	(011)778-2087
9期	石橋智恵美(伊藤)	(0143)85-3488	9期	菖浦 延子(唐沢)	(0143)86-4619
教24期	高橋麻都香	(0144)57-6262	10期	早坂裕美子(秋田)	(011)573-2827
24期	藤原 真美	(011)387-3130	12期	中野 和美(小林)	(0143)45-1321



前列中央 潤間先生



前列中央 川崎先生



## 栄誉 今後さらなる飛躍を

在学生の活躍

会員の活躍

第41回学生美術全道展受賞

入賞「北海道新聞社賞」

入選 諏訪 直子(美2)

海老沼路子(美2)

「室蘭市・市民公募」

生涯学習シンボルマーク受賞

優秀賞 大坂 美香(保1)

第3回旭化成キヌプラベンベルグ

デザイン大賞受賞

金賞 進藤 愛(服2)



橘 記子(教養学科21期)

「原毛から作るフェルトのバックと小物」

文化出版局より出版

## ◆編集後記◆

我々を育ててくれた20世紀、最後の年である。急激な社会変化、発展の陰に、忘れられた心、をとりもどし、自然をとりもどし、原点を見つめる事が必要じゃないか。

昨今の事件の続発、自然破壊、その他教育の問題など、負の遺産をかかえて新しい世紀に向かうのはよそう。新しい世紀にふさわしい地球人たる様に!

(K・S)

## 水芭蕉

今回は、厚底・黒顔・ヤマンバギヤルの事を書こうと思ったが、ヤメタ。「大人のアンタが悪い!」これに変更。

昨今、胸の痛くなるような事件が相次いで起っている。その糸を辿って行くと、甘い母親が居て、無関心の父親がボヤーと見えてくる。もはやこれは学校教育の問題ではないのです。家庭教育・親子

五十歳・一回生

## 謹んでご冥福をお祈りいたします。

砂田友治先生 享年83歳 平成十一年十月ご逝去

## お知らせ

## 文大祭一般公開(第31回)

平成12年10月28日(土)・29日(日)